

令和6年度 第3回 学校運営協議会 議事録

	校名	大阪府立とりかい高等支援学校
	校長名	福井 浩平
開催日時	令和7年1月31日(金) 14:30~16:30 (14:30~15:00 生徒活動の動画視聴)	
開催場所	大阪府立とりかい高等支援学校 会議室	
出席者(委員)	A委員、B委員、C委員、D委員、E委員、F委員	
出席者(学校)	校長、教頭、事務長、首席A、首席B、指導教諭、 教務主任、生徒指導主事、保健主事、進路指導主事、地域支援部長	
傍聴者	0名	
協議資料	①次第 ②学校運営協議会 委員名簿 ③学校運営協議会 事務局名簿 ④学校運営協議会 実施要項(R6.12改正) ⑤学校運営協議会 実施要項準則の改正について(新旧対照表) ⑥生徒保健委員会の取り組み (第64回大阪府立学校保健研究発表大会での発表スライド) ⑦11/16(土)学校祭来校者アンケート ⑧12月授業参観週間保護者アンケート ⑨令和6年度3年生(10期生)進路状況 ⑩令和6年度 学校教育自己診断 結果と分析、肯定度ランキング ⑪令和6年度 学校経営計画及び学校評価【年度末評価】 ⑫令和7年度 学校経営計画及び学校評価	

議題等(次第順)
(1) 学校運営協議会 実施要項(R6.12改正)について (2) 生徒保健委員会の活動・発表(動画視聴)について (3) 11/16(土)学校祭来校者アンケートについて (4) 12月授業参観週間保護者アンケートについて (5) 令和6年度3年生(10期生)進路状況について (6) 令和6年度 学校教育自己診断 結果と分析について (7) 令和6年度 学校経営計画及び学校評価について (8) 令和7年度 学校経営計画及び学校評価について (9) その他、質疑応答

（１）学校運営協議会 実施要項（R6.12 改正）について

【教頭・校長より説明】

これまでは条件があったが、条件なくオンライン会議で出席ができるように改正になりました。承認されたら、次回（来年度）の協議会から適用されます。

→ 承認された。

（２）生徒保健委員会の活動・発表（動画視聴）について

（協議会に先立ち、保健主事より生徒保健委員会の普段の活動の様子分かる写真を見ていただきながら報告をし、第 64 回大阪府立学校保健研究発表大会での発表動画を視聴した。以下は、それを受けての意見交換。）

【F 委員】

大会で発表をした本人は、うまくいかに落ち込んで家に帰ってきたが、今日動画を見てよく頑張っていたと思った。人前での発表は勇気がいるし、自信がつき、達成感も持てる。こういう機会を与えていただけてありがたい。今後も続けてほしい。

【E 委員】

心や体に関する内容をまとめたポスターは、本来 SC などが校内で発信しないといけない内容ではないかと思った。分かりやすくまとめてあり、生徒にとっていい学びだ。先輩、同級生、後輩に伝わりやすいと思うので、続けてほしい。

【D 委員】

校内で生徒同士で共有していて素晴らしい。発表はこれから社会に出ても自信につながる。今のストレス社会に向き合った内容で、役立つ研究だ。家庭でもこういう話題について話し合えるとよい。

【C 委員】

発表内容はとても良かった。ストレスって何？、じゃあストレスを発散させる方法は？など考える力が素晴らしい。発表を聞いている側もとても勉強になる。準備した生徒はよく努力したんだと思う。

【B 委員】

ウェルビーイングというのでしょうか、心と体を車の両輪のように考えて研究していくのは生徒にとっていいことだ。

【A 委員】

発表動画を発表した自分たちでも見ることに。周りから言われるだけではなく、自分でも見て、自分の良さなどに気づくことも大切だ。

（３）11/16(土)学校祭来校者アンケートについて

【地域支援部長より説明】

創意工夫された発表で、来場者に好評価だった。生徒名を出してほめられていた生徒本人には、その旨を伝えた。進行や展示の仕方については改善策を考える。アンケートは Google フォームと紙で実施した。

【C 委員】

感想を読むだけで楽しい行事だったんだろうな思った。

【E 委員】

当日は、できるだけ参加をしている。当日までに教員が付き添って生徒と準備をして生徒も楽しいだろうと思う。当日は、製品販売に行列ができて、並んででもほしい物が多い。今年売られていた物が来年売られているとは限らないので、毎年楽しみにしている。体育館の舞台発表が見えなかったりするの改善

してもらえたら。

【F 委員】

PTA の販売では、一気に売れてしまって途中で仕入れを追加するくらいの盛況だった。子どもが卒業しても来ると思うので、商品が途切れないように準備をしてほしい。

【A 委員】

去年と大きく変わったことは何？

【地域支援部長】

去年は Google フォームではなく、連絡帳でアンケート用紙を配付したが、今年はアンケートの回答が多かった。

【A 委員】

アンケート内容を去年と比較して考える材料にしてほしい。生徒も教員も楽しめているなど感じる。

(4) 12月授業参観週間保護者アンケートについて

【教務主任より説明】

7月の授業参観より参観人数は減った。Google フォームで5件、紙で1件、合計6件の回答があった。これまでの学校運営協議会で指摘のあったように、「良かったところ」と「改善すべきところ」に質問項目を分けた。前回よりも具体的に書いていただけて効果的なアンケート結果になった。今回は、前回のアンケートをふまえて、併設校の摂津支援学校と調整のうえ、4階ではなく1階に受付を設置した。

【F 委員】

普段から見ている時と同じような授業の良さが伝わってくる、良い感想が多い。引き続きよろしく願います。

【E 委員】

今年は参観者が増えてて、アンケートも良い内容だと思う。

【C 委員】

来校した保護者が20名くらいで、アンケートが5名の回答なんですね。

【B 委員】

アンケートの QR コードを掲示したり、来校した保護者に連絡帳でアンケートを配付したり、いいと思う。ハサミが見当たらない、ハサミの切れ味が悪い、の記述が気になる。弊社では本数をチェックして管理している。生徒が使うことを願う。

【A 委員】

参観者人数が20名ほどで、多くの保護者が参観に来れない理由は？

【指導教諭】

4月の参観は土曜日だったが、今回は平日なので仕事に行かれている家庭も多いのではないかと。できるだけ多くの保護者に子どもの頑張りを見に来てほしいと思うが。

【校長】

4月の参観では、1年生の保護者は27家庭が来られた。最初は授業でどんなことをしているんだろうなと気になって見に来られ、ほっとして参観に来なかったということもあるかもしれない。

【A 委員】

1回、保護者が参観で授業の様子を見ていると、家庭で話の話題になって良いだろう。

(5) 令和6年度3年生（10期生）進路状況について

【進路指導主事より説明】

今年度の3年生の現時点での、29人中、就職26人、福祉利用2人、未決定1人で、卒業までに進路先

の決定のめどは立っている。障がい者の法定雇用率が上がり、企業の積極的な採用が続いている。今年度は本校にとって12社が新規の就職先の会社となった。就職手続きや就ポツ登録を進めていっている。

【B 委員】

内々定とはどういう状態？

【進路指導主事】

採用面接待ち状態で、日にちは決まっている。今の時期だと卒業まで日が限られているので心配もあるが、企業とは打ち合わせて進めている。

【C 委員】

障がい者の法定雇用率が上がり、企業の積極的な採用が続いているということは、生徒は仕事を選べる範囲が広がったということか？

【進路指導主事】

そこは難しいところで、したい仕事に対する仕事があるし、実習にも行け、生徒に紹介するには困らないが、生徒にマッチしているかどうか、教員のマッチングの見立てがどうかが大切。

【D 委員】

途中で仕事を辞めたいとかがあって、ストレスがすごくかかる社会になってきている。そこにどう対処していくか。生徒個々のメンタル面も寄り添ってケアしてみしてほしい。

【E 委員】

進路先が決まってきてほっとする。1年生の時は嫌だと言っていたのに、実習に行って自信をつけて3年生で決まって、嬉しい。これで卒業して、その後、進路先に定着するかが課題。将来に役立つ内容を授業で扱い、困った時にはSOSをだしていい、相談するんだよと言ってあげてほしい。

【F 委員】

家族としては、内定取り消しがなくドキドキする。家でも、途中でやめないことを本人に言っている。何回も実習行って、しっかり自分で判断をしていけるのが、本当にありがたい。

【A 委員】

大学では、最近では大学3年生で内定が決まったりするので、より実践的な授業内容に変えないといけなかったりする。とりかいても現状に合わせて途中で授業内容を変えたりすることはあるのか？

【進路指導主事】

大きく変えることはないが、就労支援アドバイザー事業で1校に1社ついて年3日程度、授業などを会社にしていただくことを今年度行った。また、就労選択支援事業が来年度10月から始まるので、在学中に福祉アセスメントを活用し、こういった職種が向いているのかなどを生徒が知り、生徒が自分達自身で経験して決めていくことにつなげたい。

(6) 令和6年度 学校教育自己診断 結果と分析について

【首席より説明】

今年度は、生徒、保護者、教員ともGoogleフォームで実施したので作業の効率化につながった。生徒は87%、保護者は86%、教員は100%の回答率だった。母数が小さいので1人の違いでも%の数値が大きく変動しているように見えてしまうため、回答項目に対する人数にも着目して分析をした。(各項目に対する分析は、記載内容を説明した。)

【F 委員】

%が低いところもあるかもしれないけど、楽しく仲良く、いい意味で温かい雰囲気のある学校生活を子どもが送って嬉しかった。本人も「今が楽しい、とりかいて来て良かった」と言っている。いつもと違うことになるのが嫌だったのが変わり、明るく、積極的になった。先生が楽しいって良いことで、「あんな風に職場の人と楽しく仕事をしたい」と本人は言っていた。

【E 委員】

今が楽しいと思えない生徒もいるのが学校。じゃあなんでしんどいのかを考えていかないといけない。授業は分かりやすいのに学校に行くのは楽しくないと思っている生徒もいるのかな、保護者は本人は楽しく学校に行っていると思っているが生徒はそうでもないのかな、など自己診断の結果から読み取れる。1年生の時は学校嫌やと言っている、3年生になって卒業したくないと言っている生徒もいる。教員の項目で、経験の少ない教員を育成する体制について肯定率が低いのは気になる。

【D 委員】

実の生の生徒の声は他の方が今おっしゃった通りなんだろうと思う。進路状況の報告を聞いて、先生方の努力の結果だと思う。

【C 委員】

一番低い肯定率でも、生徒と保護者は70%を超えているので高い%だと思う。教員の肯定率58%の項目は気にはなる。校内で何かを教えたり指導したりするものはあるのか？

【校長】

専門性を高める職員研修や研究授業を行っている。また、広報活動で、あえて新着任の先生方に来校者の案内係をしてもらっている。案内しようと思ったら自分も学校のことを知ろうとする。教員数が少ないので、早い時期から育成しておく必要がある。肯定率の低かった教員の項目については、今校内でアンケートを取っているところだが、どこの学校でも低い項目かなと思う。

【B 委員】

弊社でも従業員満足度アンケートがある。それ目的に頑張っているわけではないが、弊社では障がい者就労に力を入れているのと同様に、学校でも生徒の教育に頑張っておられる。数字に一喜一憂するのも変な話だが、なぜなのか結果を分析して深掘りするのも大事。

【A 委員】

大学でも授業アンケートがある。分かってほしいレベルを上げると結果が低く出るもので、母数が少ないのでなかなか数字を鵜呑みにはできない。教員は、以前の勤務校での良かった体制をイメージしがち。だんだんと今の勤務校になじんでいくものとは思うが。

(7) 令和6年度 学校経営計画及び学校評価について

【校長】

学校教育自己診断の項目で学校経営計画に載せている項目を中心に説明。全体的に、目標数値は上回っていません。数値化できない項目もあるので、そこを加味して評価を書いている。

- ・生徒の授業中の発言や発表について、授業を見に行ったら発言はしているが、生徒自身はそれをあまり発言と捉えてないのではないだろうか。
- ・卒業後の職場定着率について、昨年度の卒業生は今のところ離職している生徒はおらず、定着率100%である。課題の出ている卒業生もいるが、アフターフォローを行っている。
- ・担任に悩みを話せるかについて、担任だからこそ悩みを言えないこともあると思う。昼休みにランチタイム相談室の開室や体育館の解放など、担任以外の教員と話せる機会も設けている。1
- ・(2)オの遅刻について、将来は就職をめざすというところだが遅刻が多い。しかし、実習に行くとなると遅刻しないだろう、働き出したら毎日行くだろうと見られる生徒もいる。そうはいつでも生活習慣は大事なので、根気強く指導していく。
- ・1(5)イのクラブの加入率は、全体で81.7%とかなり上がった。
- ・4(2)アの教員の時間外勤務について、どうしていくか考え中。特定の教員だったり、業務の偏りなどもある。業務の多い教員にサポートの教員をつけたり、他の教員に割り振れる仕事はないかなど検討する。

【B 委員】

目標数値が上回っていなくても、説明できれば評価していい。1年後の職場定着率が100%とはすごい。全国では、2017年で68%の定着率だ。マッチングとアフターフォローの成果だと思う。

【C 委員】

クラブの加入率が高いことについてどんな工夫をされたのだろうと思う。生徒がクラブに興味を示したのでしょね。

【D 委員】

結果は数値だけではない。職場定着率100%とはすごい。努力を続けてほしい。

【E 委員】

数値の件について異論はない。クラブに新しい生徒が入ると先輩の生徒の顔つきが変わる。先生の、「クラブ入ったら？」の促しが生徒に響いていると思う。

【F 委員】

職場定着率100%はすごい。職場実習に行かせてもらって、進路先とのやりとりもしてくださってありがたい。子どもは、クラブに行って、いきいきして家に帰ってくる。学生として青春やってるんだなととても嬉しい。

【A 委員】

遅刻者数について、R6とR7とを比べると、目標数値が上がっているのはなぜか。遅刻が多い人が改善するような目標設定を。また、今の目標設定（遅刻ありが何割）とは反対に、遅刻なしが何割とか、肯定的な目標設定を。

★R6年度学校経営計画及び学校評価について、承認された。

(8) 令和7年度 学校経営計画及び学校評価について

【校長】

各項目の目標に、キャッチコピーをつけた。本当に取り組みたいことに集中してみんなでやっとうよ、という思いである。遅刻の目標については、先ほどいただいたご意見を参考に考え直したい。35項目から18項目に減らした。11項目は各部署からの目標、7項目は校長設定である。

【F 委員】

スリム化されて良い。分かりやすい。

【E 委員】

学校全体でやっとうよというのは、とても良い。キャッチコピーがあるのは分かりやすい。

【D 委員】

キャッチコピーは交通標語みたいで分かりやすい。

【C 委員】

キャッチコピーは分かりやすい。

【B 委員】

教員の思いも校長の思いも凝縮された計画だと思う。

★R7年度学校経営計画及び学校評価について、承認された。

(9) その他、質疑応答

特になし。